

現代日本における奴隷制度 ～外国人労働者問題の現場から～

「現代の奴隷」が、日本にいることを、ご存知ですか？

近年、外国人技能実習制度を利用して来日した外国人が、奴隷のように働かされるケースが後を絶ちません。外国人技能実習生の人数は2016年には21万人を超え、今や日本の経済を支える重要な労働力となっています。本講演では、外国人技能実習制度の現場から見てきた実態についてご紹介するとともに、日本政府、企業、そして世界の動きについてもお話しします。

2017年4月19日(水) 18時～20時

本郷キャンパス東洋文化研究所3階第1会議室

講演者： 垣原 史歩 (Project Leader, Energetic Green)

東京大学工学部卒業。東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻修了。サステナビリティ系ライター、国際人権NGOインターンを経て、現職。国内外の工場を訪れ、サプライチェーンにおける人権・労働に関する現場重視のコンサルティングを行っている。



主催：東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「多文化共生・統合人間学プログラム(IHS)」
教育プロジェクト4「多文化共生社会をプロデュースする」

注意：写真・映像・音声等を記録することとその記録されたものをプログラム活動で使用する可能性があることをご了承いただいた上でご参加ください。